

2024 年級 9 月生まれアユにみられた成育初期の成長遅滞

谷口 皆人

1. 目的

2024 年 12 月から、琵琶湖のアユ漁業は極端な不漁であり、その原因は 9 月に生まれた「早生まれ」が少なかったためと考えられる。この事象に対して、2024 年生まれのアユの成長がどのようなであったかを把握するため、耳石をもとに成長の解析を試みた。

2. 方法

12 月 2 日に北湖沿岸の 6 漁協のエリで漁獲されたアユ計 177 尾から耳石を摘出した。耳石解析ではラトックシステムエンジニアリング社製の耳石日輪解析システムを用いて日齢査定を行うとともに、測定した日周輪間隔と耳石径から Biological intercept 法により体

長を逆算推定し、日毎の成長速度を算出した。比較に用いた過去の成長データは本場に保存されていたものを使用した。

3. 結果

測定した 177 尾の内訳は 9 月上旬生まれが 9 尾、9 月中旬生まれが 69 尾、9 月下旬生まれが 57 尾、10 月上旬生まれが 41 尾、測定不能が 1 尾であった。それぞれの生まれ別に成長速度（1 日あたりの成長速度）を平年値（過去 10 年の平均）と比較すると、9 月上旬生まれと 9 月中旬生まれで成育初期における成長速度が平年値を大きく下回っていた。9 月下旬生まれと 10 月上旬生まれの成育初期の成長速度は平年並みであった（図 1）。

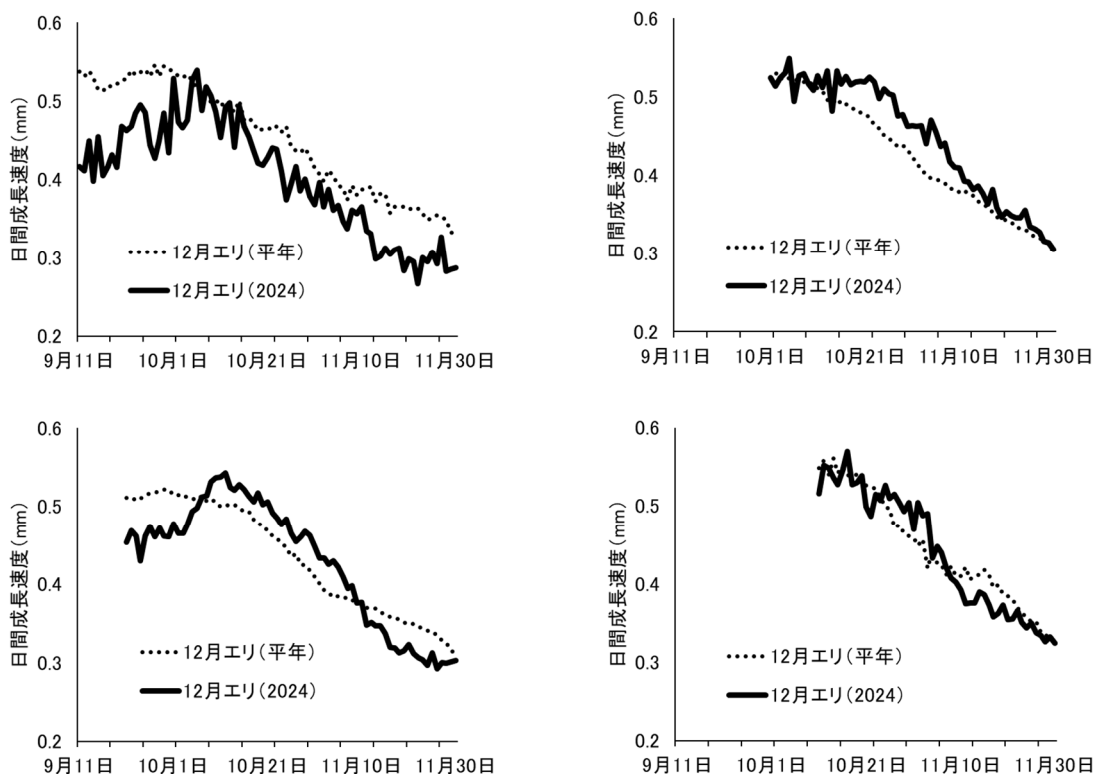


図 1 12 月にエリで漁獲されたヒウオの生まれ時期別成長速度
(左上:9 月上旬生まれ, 左下:9 月中旬生まれ, 右上:9 月下旬生まれ, 右下:10 月上旬生まれ)